

信州の小京都

飯山城址

飯山城のはじまり

伝承では泉親衛（鎌倉時代）との関係が語られていますが、戦国期、飯山地域の土豪であった泉弥七郎が、居館を築いたのが最初であるといわれています。また、川中島合戦を通じて、上杉謙信が軍事的拠点として、永禄年間（1558～1570）、大改修をし、城として整備されていきます。その後、武田勝頼、上杉景勝の家臣、飯山城代岩井備中守信能などにより、飯山城は堅固な城郭へと改修されました。飯山城は、戦国期の上杉氏と武田氏が関与した城として貴重な城跡です。

資料 4

飯山城の特徴

飯山城は平山城で、東に千曲川、北に皿川、南は急崖、西は湿田と自然の要害であり、後堅固の城です。縄張りは梯郭式で、水堀、空堀で城の周囲を囲み、より防御を固めています。戦国時代には上杉氏の軍事的拠点として、近世には飯山藩の領国統治の中核としての役割を果たしました。戦国期の名残りとして、近世の城としての面をあわせ持つ、貴重な城郭です。戊辰戦争で長野県唯一の戦争であった飯山戦争は、飯山城を中心に戦われました。

製作：飯山倶楽部

歴代藩主

- 1583 岩井信能(上杉景勝の命により)
- 1598 関一政
- 1600 森忠政
- 1603 皆川廣照
- 1610 堀直寄
- 1616 佐久間安政 (以下3代)
- 1639 松平忠俱 (以下2代)
- 1706 永井直敬
- 1711 青山幸侶
- 1717 本多助芳 (以下9代)
- 1871 (明治4年) 廢藩置県

飯山城下町と寺町

飯山城下は、天正11（1583）年、上杉景勝の武将岩井信能が、飯山城代となったのを契機に始まりました。町屋は、上町・下町（本町）・肴町の三町が最初につくられ、侍屋敷（北町・田町・福寿町）の建設、整備もなされたといわれています。上杉氏の会津移封後、飯山に入封した諸大名により次第に整備され、元禄年間（1688～1704）には、愛宕町・伊勢町（神明町）が成立、享保年間（1716～1736）に、新町・鉄砲町が成立しました。また、寺院の招致は、各城主が行い、佐久間氏と松平氏は積極的に招致し、寺町もこの頃までに成立しました。寺院は西丘陵に多く建立されましたが、それは軍事的な要因と、都市景観を考慮した面もあるといわれています。寺院で浄土真宗の寺院が多いのは、飯山の地が、親鸞・蓮如と歴史的に深い関係があることが一因です。

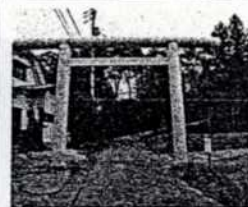
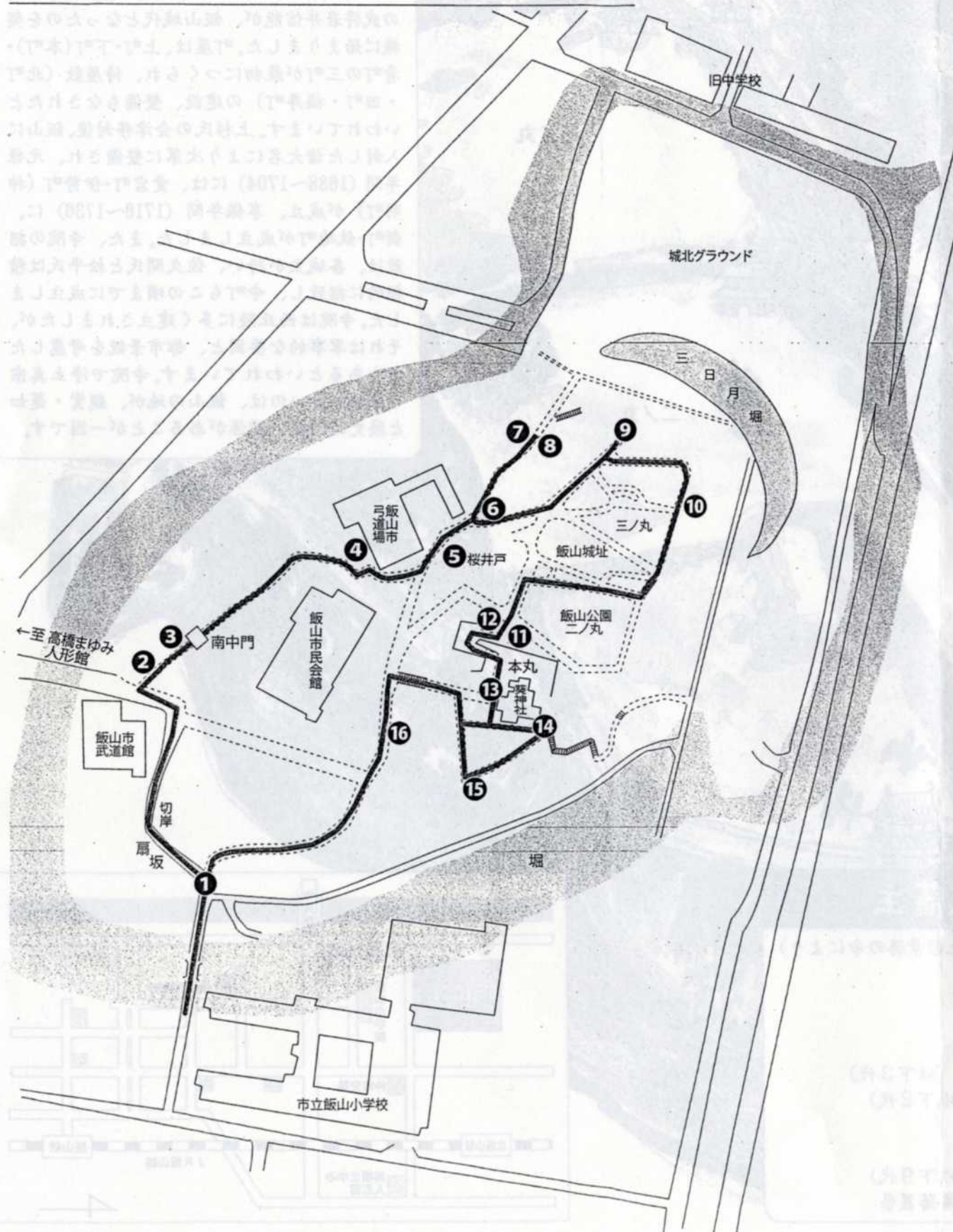
三ノ丸

二ノ丸

本丸



■ 飯山城全体図と見どころ ■



①南大手門

現在大きな鳥居のあるところに南大手門がありました。西側の坂を扇坂と言ひ、ここの切岸からも遺構が感じられます。



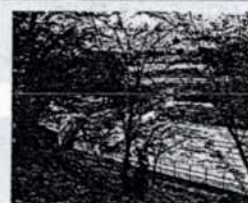
⑨北大手門

旧中学校校舎あたりにあったと言われています。北門(裏門)はかつての「大手門」でした。



②岩井備中守信能頌徳碑

飯山城下町の基盤と発展の礎を築いた人物です。平成16年、飯山城築城440年を記念し、市民により建立されました。



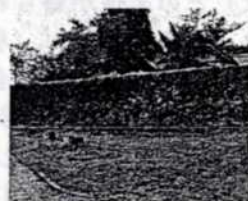
⑩堀

堀の痕跡を見ることができます。現在の栄川の水面の低地が堀の水位でした。



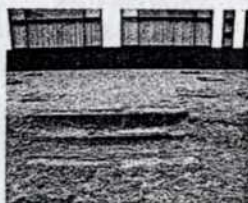
③南中門

大手門から二番目の城門です。現在の南中門は、平成5年に復元されたものです。



⑪石垣

「打ち込みはぎ」「野面積み」という工法が用いられているのが特徴です。現在の二之丸の石垣は高さが約4m、正保城絵図と同じ高さです。



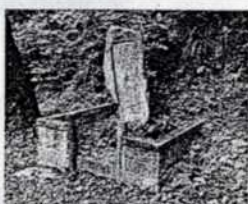
④南中門跡

礎石や雨だれ跡がうかがえ、茶碗や皿、鳩笛など、昔の暮らしを知ることができるものも多数見つかっています。



⑫枅形(ますがた)

城戸の狭さが印象的で、近世のお城の遺構を残しています。「外枅形」といい、本丸の外側にあって、出撃能力の高い形です。



⑤桜井戸跡

泉親衡(鎌倉時代の御家人)が、この丘を訪ね、水を与えたまえと願ったところ、桜の根元より泉がこんこんと湧き出たとの伝承があります。この井戸は桜井戸と呼ばれ、歴代城主も大切に保全しました。



⑬葵神社

享保2年(1717年)より9代にわたって藩主として藩を治めた本多家の祖先(本多広孝)を祀っています。明治16年に建立されました。



⑥三年坂

「再念坂」とも言い、参拝の方が坂道を通るたびに祈願すると成就するとのいわれがあります。



⑭不明門(あかずの門)

妙専寺(神明町)の寺門として現在も使用されています。



⑦土塁

戦国期、飯山城は土塁が主な防御施設でした。北大手道に残っています。



⑮櫓(やぐら)

飯山城に天守閣はありませんでしたが、2層の櫓が三ノ丸に一つ、本丸に二つありました。本丸の南方に「壁田城」があり(武田方)・川中島合戦における飯山城の軍事的意義がよくわかります。



⑧切岸

切岸は地山を断崖状にカットして、防御面とした人工的な急斜面です。飯山城は、切岸をうまく活用しており、西曲輪の南側などにも見ることができます。



⑯西曲輪(にしくるわ)

戦国期には重臣たちの武家屋敷が、江戸期には藩主の御殿があった曲輪です。